

『公的サービスが利用できない入所施設利用者の外出をサポート事業』を2014年4月より開始しました。この事業を多くの入所施設利用者の方に使ってもらうため、公益財団法人『京都地域創造基金』の寄付募集事業へ申請しました。

城陽市内には9カ所の障がい者の入所施設があり、約500名の方が集団生活をされています。入所施設で暮らす方は障害者総合支援法に基づくガイドヘルプサービス（行動援護・移動支援等）を使うことができません。施設で暮らす方の多くは、24時間365日を施設内で暮らしておられます。施設内でのレクリエーション活動なども行われており、施設職員の方々も入所者の生活の質を高める為の努力はされていると聞いています。しかし、入所者一人一人に合わせた余暇支援の活動は困難な状況があると聞きます。「甲子園へ行って野球観戦したいなあ」「休日にはショッピングに行きたいなあ」と思われている入所者の方は多くおられますが、その声に応えられる職員体制ではなく、入所施設職員の方々も困っておられます。

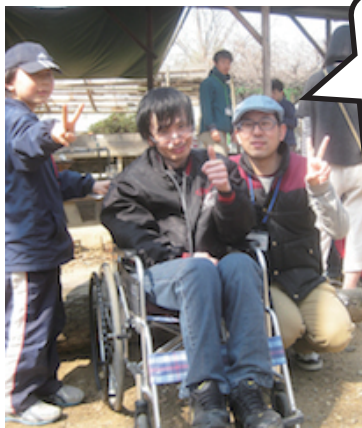
そこで、当法人が行う『ヘルパーステーションそらいろ』での支援活動を活かして入所

施設利用者の外出の力になることはできないかと考えました。支援できるヘルパー体制は整っていますが、支援を行うにあたっての利用料が最大の壁となりました。公的サービスだと利用者負担額は1割又は無料です。残りの9割は公的資金で賄われています。全額を利用者に払ってもらうことにすると、費用負担が壁となり、外出の機会を失ってしまいます。支援できる体制が整っているだけに、残念な話です。

この費用負担を軽くするため、この事業を応援して下さる方からの寄付金を集めるという寄付金募集事業を使わせていただくことにしました。この事業を通して寄付をしていただくと、寄付者の方にも税制優遇措置を受けられるメリットがあります。詳しくは京都地域創造基金のホームページをご覧ください。

今回の事業は城陽市内の入所施設利用者の方に向けた取り組みとなりますが、この事業が軌道に乗れば、地域の他のヘルパー派遣事業所との連携などを通して、より多くの入所者の方の外出支援を行える体制を作ろうと考えています。まだまだ、始まったばかりの取り組みですが、皆様のお力で大きな事業へと変換していただければ嬉しく思います。  
(理事長 中野裕介)

# 京都地域創造基金 寄付金募集事業始めました！



入所施設で暮らす方の楽しいおでかけをサポートします！

京都地域創造基金のホームページからも寄付ができます  
(QRコードからアクセスできます)



## 賛助会員 募集

年会費 1口 2000円  
(団体の方は2口以上をお願いします)

### 【郵便局から振込】

銀行 ゆうちょ銀行  
記号 14410  
口座番号 17731231  
名義 トクビユウ サポート

### 【郵便局以外の金融機関からの振込】

店名 四四八  
店番 448  
預金種目 普通預金  
口座番号 1773123

振込をして下さる方は、お手数ですが下記連絡先までご連絡して下さい。お名前・ご住所などを聞かせていただきます。

特定非営利活動法人ゆう・さぼーと  
080(4767)4016  
中野裕介

## 寄付の申し込み

下記の口座から寄付していただくことができます。

### 【銀行振込】

京都信用金庫 本店(普) 2144120  
公益財団法人京都地域創造基金

### 【郵便振替】

00930-4-312262  
京都地域創造基金寄付口座  
(通信欄に『ゆう・さぼーと』と記載)

寄付金目標額 70万円

## 支えて下さり ありがとうございます

正会員：12名  
賛助会員：9名 23口  
(2014年3月31日現在)

### 【寄付】

寄付金 (角本松樹様)  
無農蒸みかん (角本貢様)  
漫画 (中村様)、絵本 (角本やよい様)  
食器類 (堀江様)、ぬいぐるみ (中野様)

(2014年1月1日～2014年3月31日)

## 編集後記

当法人4年目の事業年度が始まりました。紙面にあるように今年度は新たな事業を開始することにになりました。現行制度の狭間で必要な支援を受けることができない方々の力になれば幸いかと思います。『障がいがある方の当たり前』を支援するためには、前回の生活を支えるために生じた法人です。施設で暮らす方の当たり前のお出かけを支援するために力を尽くすことができれば本望です。微力ではありますが、よろしく願います。  
(中野)